

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
26	川崎市立橋中学校	廣石 志津子

学校教育目標	今年度の重点目標
ひとりひとりの個性を伸ばし、知・徳・体・意の調和のとれた人間性豊かで、たくましい生徒を育成する	☆共に支えあえる学校(共生・協働) ☆いじめ防止に向けての具体的な取り組み ☆「わかる授業」は学習指導・生徒指導・支援教育の基本

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1	<p>◎共に支えあえる学校(共生・協働)</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止に向けての具体的な取り組み 生徒の視点に立った生徒理解 日常的な教育相談の充実 不登校生徒への具体的な対応の推進 多様性を互いに認め理解し、差別のない学校づくり 3年間を見通した道徳、人権尊重教育を基盤とした教育の推進 <p>◎SDGsと関連付けた教育課程の構築</p> <p>◎総合的な学習の時間の充実</p> <p>◎3年間を見通した学習プログラムの構築と推進</p> <p>◎特別活動の充実(自主・自立)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級活動・生徒会活動・学校行事及び話し合い活動の充実 生徒会スローガン「それぞれの個性が育む橋の樹」 <p>◎かわさき共生＊共有プログラムの推進と活用</p> <p>◎キャリア在り方生き方教育の推進</p>	<p>・共に支えあえる学校(共生・協働)の実現に向けていじめ防止に向けて「川崎市立橋中学校いじめ防止マニュアル」「生徒指導上の心構え」をもとに「情報共有シート」を積極的に活用し、チームで対応している。しかし、どの学年においてもSNSでのトラブルが起きており、SNSトラブル未然防止についてさらに指導を家庭と連携して徹底していく必要がある。いじめ防止に向けては、今後も迅速かつ注意深く対応していく必要がある。</p> <p>・友人に対して思いやりをもって接することは95.1%(数値は学校評価・生徒)の生徒ができており良好であるといえるが、常にお互いを大切に思う気持ちをもった言動を意識してとれるよう改善していきたい。社会福祉協議会と連携しセクシャルマイノリティを学ぶ講演会を今年度も実施した。福祉教育と合わせ多様性について理解し人権尊重について考える機会をもていきたい。</p> <p>・相談できる先生 信頼できる先生 88.6% 昨年度比較 -1.3% 教育相談はもともと日常授業をはじめすべての教育活動の中で丁寧と生徒と向き合い、一人ひとりの生徒を大切に生徒理解に努めたい。</p> <p>・地域の皆様のご協力のお陰で6年ぶりに職場体験学習を行うことができ、キャリアを形成していく学びにつながった。</p>	<p>・いじめ防止に向けての取り組みでは未然防止はもちろん「情報共有シート」の活用、チームでの対応を確実に進めていきたい。SNSトラブルの未然防止をめざし、他機関と連携し講演会を複数回もつことと日頃からの注意喚起を継続し、互いを理解し大切にすることを実践し、興味と連携し、不登校傾向の生徒は、今年度も多く1月時点で63名いる。別室指導の充実のモデル校2年目となり、昨年度よりも多くの取り組みを試みることや学習室の充実を図った。その結果、毎日利用する生徒や利用者総数の増加がみられた。しかし、来年度も日々の学習が進められる環境作りや教員側の配置等を考えるなど、さらなる改善を目指し学習室の充実、セクシャルマイノリティをはじめ多様性を互いに理解し認め合える取り組みを継続して実施していきたい。</p> <p>・今年度再開した職場体験学習を次年度も地域と連携しぜひ実施していきたいキャリア在り方生き方教育を充実させていきたい。</p>
2	<p>◎基礎的・基本的な学力を身につける指導の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> わかる授業の推進 お互いの学び合いを大切に学習の展開 GIGAスクール構想の推進 双方向の学びで他者と「つながる」 <p>◎支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習面で特別な配慮を要する生徒への支援の充実 学習室運営の充実と連携の強化 外部機関との連携 <p>◎授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業公開、研修を通して授業力の向上に向けた取り組み 学習評価の場面や方法等の工夫・改善 	<p>・わかりやすいいいねな授業、わかる授業は90.9%の生徒が肯定的に捉えている。しかし、約10%の生徒は否定的である。わかる授業の推進のためには、生徒の理解度などもしっかりと捉えた上で教員の授業力の向上が欠かせない。日常的にGIGA端末の活用やグループワーク、学び合いを効果的に取り入れる授業が多いが、探究的な学びを意識した授業を展開するなど更なる改善が必要だと考える。</p> <p>・話し合い活動に積極的に参加73.8%昨年度比較-5.9% どの生徒も教科、学級会での話し合い活動に積極的に取り組めるよう授業展開やサポート等を改善していきたい。</p> <p>・昨年に引き続きCoを中心に学習室の運営の充実にも努め成果が現れてきている。教室に入れない生徒や不登校傾向の生徒に向けて様々な角度から手厚く指導できるようにしていきたい。支援教育への理解をより深めていきたい。</p>	<p>・興味や楽しく授業85.7%昨年度比較-0.5%であった。授業に楽しく参加できていない生徒が約15%いる現状を今年度真摯に捉え、互いの授業を見合うことを実践し、興味を持って授業展開や考えが深まるような発問の工夫等、教材研究を重ねていきたい。少人数授業やT.Tを取り入れるなど基礎基本の確実な定着を図る授業、興味や楽しく授業を目指し、さらなる授業改善に努めたい。</p> <p>・今年度授業力の向上に向けては、校内授業研究会とより良い評価・評定の在り方や生徒指導について研修した。次年度は、さらに生徒に寄り添い個に応じた指導・支援、支援教育のあり方、授業力向上、信頼される評価・評定などの研修を重ね、学習指導の充実を図ってきたい。</p>
3	<p>◎心と体の健康増進(保健室との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> 保健室、支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーとの連携 心や体の健康増進 <p>◎学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒にとって学習しやすい落ち着いた教室環境づくり 命を守る防災教育、危機管理体制の推進 	<p>・健康増進を目指し、感染症予防、タイムリーな情報提供や調査を行い、生徒の意識づけとなった。</p> <p>・快適な学校施設92.0% 多くの生徒が学校の施設状況に満足している。今年度は夏季休業期間に教室の空調設備工事が入り、冷暖房が故障することなく稼働した。より快適な教室環境の中、日々の学習活動を行った。</p> <p>・別室指導の充実のモデル校2年目となり、事務室とも連携し、学習室がより使いやすくなるよう整備することができ充実を図った。</p> <p>・防災学習や防災訓練を実施する中で、防災意識の啓発に努めた。今後も継続して取り組んでいきたい。</p>	<p>・事務職員の主任会での教員とは違う視点での意見は、学校運営上大いに参考になっている。来年度からの35人学級実施に向けて教室配置や職員室の環境整備などについても連携を大切に生徒が安心して学習できる環境づくりを推進してきたい。</p> <p>・感染症予防に継続的に取り組み、大きな閉鎖には至らなかった。</p> <p>・喫緊に迫る地震などの自然災害に向け防災訓練をたちはな中央保育園と合同で今年も実施したが、次年度は更にその備えを充実していきたい。意識面での啓発も防災学習の授業を通して行ってきたい。</p>
4	<p>◎学校・家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域と連携した教育の実践 保護者・地域の方々などの地域教育力を活用した教育活動の推進 コミュニケーションの推進 小・中連携教育の推進 小・中連携した支援教育の充実 <p>◎生徒、保護者から信頼される教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校公開や学校より各種通信、ホームページ等を通じた保護者・地域に向けての情報発信の充実 学校評価の活用 	<p>・PTAバザーで新たな試みとして移動動物園を取り入れ動物と触れ合う機会となり、生徒に大変好評であった。昨年度に引き続き、小6の保護者に制限サイタル販売などを知らせ購入可能とした。恒例の部活動対抗リレーや全校生徒参加のゲーム大会、ゲームコーナーを生徒が運営するなど、バザーの中でも生徒の様子を知っていただく機会となった。多くの保護者の皆様にご協力いただいたこととなった。</p> <p>・地域で開催される防犯教室や社会福祉協議会行事(橋の散歩道ウォークラリー)、橋まつりなどへ生徒(演劇部、吹奏楽部、ボランティア部など)が参加し保護者や地域の方々、小学生と交流等、地域連携により橋中学校の活性化に繋がった。今後も継続していきたい。</p> <p>・橋中学校区の6年生対象の中学校体験入学を行った。また、小学校との授業参観・研究協議などを行い、小中が連携し児童生徒理解を深める機会となった。</p> <p>・今年度も学校HPの充実にも努めた。年間行事予定や月行事予定、生徒の日々の活動や中学校給食の献立の内容を掲載するなどの情報発信を図った。</p> <p>・学校公開日を6年ぶりに設定し、普段の授業の様子を参観してもらう機会ももてた。</p>	<p>・PTAバザーは、昨年度より範囲を広げて実施できた。生徒が運営するコーナーも設けるなど、保護者、生徒、地域、教職員が一体となって行うことができた。より充実した一日となるようPTAや地域と連携しながら計画していきたい。</p> <p>・昨年度に引き続き、PTAのあり方や活動方法を工夫した取り組みを展開している。今後も今の時代に即したPTA活動としていきたい。</p> <p>・2学年の職場体験を通して、地域の皆さんに多大なるご協力をいただき、地域力を活用した教育活動の推進につながった。次年度以降も継続していきたい。</p> <p>・地域連携を大切にしながらも、改革する余地はあると考える。</p>
5	<p>働き方改革の推進</p> <p>教職員の時間外勤務時間の削減に向けた改革</p>	<p>・生徒の安全及び長時間勤務を改善するために最終下校時間のさらなる見直しを行った。また、長期休業期間の時差勤務が定着してきており、特に7月、8月や12、1月の時間外勤務時間が80時間オーバーの教職員が昨年度より減った。しかし前期は80時間オーバーが多く20名を超える月があった。声掛けや面談等を実施したが、生徒指導、保護者対応、教材研究、成績処理事務等、業務多岐にわたる量も多く、なかなか改善にはつながらないところがある。</p>	<p>・部活動ガイドラインの徹底を図る。</p> <p>・生徒の安全、長時間勤務の改善を図るために、最終下校時間の検討と見直しを行う。</p> <p>・働き方改革への意識の向上に努める。行事の精選や改善、仕事の分担等改善を図る。</p>

学校関係者の評価	学校運営のまとめ
<p>今年度の学校運営協議会は、2月27日に実施された。学校関係者からの本校の教育実践に対する評価は、ご理解をいただき概ね好意的であったが次のようなご意見・感想をいただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館の環境改善について協力できることはないか。 不登校傾向の生徒の対応として学習室の充実が効果的なことがわかったが、その他にもどんな手立てをとっているのか、より具体的に提案していきたい。 行事や部活動を通して学校が楽しいという生徒がほとんどであることはわかるが、学校がどの生徒にとっても安心していられる場所であるよう、さらにいろいろな角度から考えていってほしい。 	<p>・学校評価アンケート(生徒)において各項目とも90%前後の肯定的な回答を得ている。多くの生徒が本校での生活に満足している。しかし、約10%程度の生徒は、何らかの不安や不満を抱いている。また、学校に来られない生徒や教室に入れない生徒がいる実態についても真摯に受けとめ、さらなる具体的な対策を考えていく必要がある。学習室の充実を図ることにより、学習室の利用者が増えている状況であるが、次年度は、学習室から次のステップへつなぐ方法や不登校傾向の生徒や支援を必要とする生徒への支援や指導の改善を図り、継続して全教職員で考え実行していきたい。ひとりひとりの生徒を大切に学習の実践が橋中学校の教育の根幹と捉え、次年度は探究的な学びや授業改善、教育相談等を充実させていく中でさらなる生徒理解に努めたい。昨年引き続き、部活動での目覚ましい活躍や学校行事等できいき活動成長する生徒の姿は、共に橋中学校で過ごす教職員にとっても大きな励みになっている。橋中学校が生徒たちひとりひとりにより安心・安全に過ごせ学びたいことがじつじつと学べ、それぞれの力を伸ばし、活躍することのできる学校でありたい。そして地域・家庭と連携して協力していく中でより良い橋中学校を構築してきたい。</p>